

地歴科学習指導案

香川県立高松北高等学校

1. 日 時 平成28年11月7日(月)第4校時
2. 授業場所 社会科教室
3. 対象学級 普通科 2年1・2組理系(男子18名 女子12名 計30名)
4. 使用教材 [教科書] 新詳地理B(帝国書院) 新詳高等地図初訂版(帝国書院)
[副教材] 新編地理資料2012(とうほう) 新地理要点ノート(啓隆社)
データブックオブザワールド2016(二宮書店)
授業用プリント
5. 単元名 第2章 資源と産業
2節 世界の農林水産業
2. 世界の農業地域区分
6. 単元の指導計画 (配当時間)

1. 世界の農業の発達と分布	1 時間	
2. 世界の農業地域区分	4 時間	
3. 現代世界の農業の現状と課題	1 時間	
4. 世界の林業・水産業	2 時間	
5. 日本の農林水産業	2 時間	(本時1/2)

7. 単元の評価規準

思考・判断・表現	関心・意欲・態度	資料活用の技能	知識・理解
世界の農林水産業について、グローバル化が進む中での現代世界や日本の農業の現状や課題を系統地理的にとらえる視点や考察方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の農林水産業について、農業地域区分や農林水産業の分布、動向などに関する考察を基に、現代世界と日本の農林水産業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	農林水産業の生産や分布に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、農林水産業の現状や課題について読み取ったり図表にまとめたりしている。	各農業地域の分布や特徴、世界や日本の農業の動向について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身に付けている。

8. 教材観

世の中の産業構成が大きく変化する中で、個々の産業のあり方も大きく変化している。農業は食糧生産をする点において、人間社会においてはなくてはならないものである。しかしながら社会が発展するにつれ、人々が他産業に移り、農業はより少人数で効率的に行われるものへと変化してきている。また、農産物が国際的に取り引きされる傾向が強まってきているなかで、各地域の課題も多い。日本においては、農業就業者の高齢化や後継者不足、TPPへの対応などの課題を抱えている。誰が、どこで、どのように農業を行うのがよりよい社会の実現につながるのか考えることは有意義なことではないかと考える。

9. 生徒観

2年1・2組理系は、難関国公立大学進学を目指す飛翔コースの理系である。知的好奇心があり、地理に興味を持ち取り組む生徒も多い。発問に積極的に答えようとする生徒がいる反面、「なぜ地理を学んでいるのか?」という根本的な問いを抱えつつも、「受験に必要なだから」と静かに学んでいるように感じる生徒もいる。ただし、そのような生徒にも自主的に地理に取り組めるようにしたい

10. 本時の目標

日本の農業が抱える問題点を多面的、多角的な角度から主体的に考察し、言語で表現できる。またその際に根拠となる資料を選択できる。また、その課題はどのように取り組めば解決することができるのか、班活動を通じて深く考える。

11. 本時の評価規準

- ・自分たちの意見を論理立ててわかりやすく発表することが出来る。 (資料活用の技能)
- ・日本の農業を取り囲む様々な問題について理解する。 (知識・理解)

12. 本時の展開

内容 (時間)	学習内容・生徒の活動内容	授業者の支援内容	備考 (留意点など)
導入 8分	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を見る ①日本の農業のイメージ ②日本の農業の課題 ③日本の農業の未来 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントによりアンケート結果を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の農業の今後について、あまり明るい展望を開いていない生徒が多いことを気づかせる
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の農業の未来について考える ・配布された資料を読み自分の考えをまとめる。 ・その考えをもとに班の中で話し合いを進める。 ・それぞれの班の意見を聞く。 ・意見を聞いた後でもう一度班の中で話し合う。 ・考えたことを配布プリントとホワイトボードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TPPへの対応や、GM作物などについても触れる。 ・班内での役割分担を指示。 ・資料を基に考えをまとめ、ホワイトボードに記入させる。 ・他の班の主張のポイントを理解させる。 ・日本の農業の未来は、捉え方で変わってくることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧安全保障の観点から、日本の農業が衰退することは好ましくないことに気づかせる。 ・話し合いがスムーズに進むよう、適宜声掛けする。 ・必要なら説明を補足する。
まとめ 7分	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の最後の意見をホワイトボードで紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角的・多面的に日本農業を捉える中で、自分達の考えが深まることを指摘する。 	<ul style="list-style-type: none"> 他にも農業に対して多角的、多面的に見ることが出来ることを補足しておく。